

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
中 1	英語	英語	5	スーパー選抜
教科書・副教材		NEW HORIZON English Course I、新中学問題集 発展編		

科目の目標			
●科目について 1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 ●コンピテンシーについて 基礎基本の知識をインプットし、それをペアワークや発表などさまざまな活動を通して、コミュニケーション能力を伸ばしていき、主体的に学びに向かう姿勢を身につけましょう。 ●英検について 英検 5 級、4 級、3級合格を目指して勉強してください。年に 3 回行われる英検の試験のうち、少なくとも 1 回は受験するようにしてください。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能 聞くこと・読むこと】 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた(話された)短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 【技能 話すこと・書くこと】 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりする技能を身に付けている。	【聞くこと・読むこと】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてははっきりと書かれた(話される)文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 【話すこと・書くこと】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり、書いたりしている。	【聞くこと・読むこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手(書き手)に配慮しながら、主体的に英語で話される(書かれた)ことを聞こう(読もう)としている。 【話すこと・書くこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こう(話そう)としている。
評価の方法	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス課題	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス課題	・日々の課題、問題集やノート、プリントなどの提出物 ・暗唱や基礎英語などの取り組み ・パフォーマンス課題

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	【Unit0】Nice to Meet You	1	・定期考査 ・小テスト ・問題集・プリント・ ノートなど提出物 ・日々の課題 ・パフォーマンス課題
	【Unit1】 Hello, Everyone! be動詞、一般動詞	6	
	【Unit2】 Our New Teacher This [That, He, She] is…、can	6	
	【Unit3】 Our School 疑問詞what, who, how, when, where、It is 前置詞…	6	
	【Unit4】 Friends in New Zealand 疑問詞how many, what time, what + 名詞、命令文	6	
	【Stage Activity 1】 ”All about Me” Poster 自分の好きなことについて紹介する文章を書く	1	
2 学 期	【Unit5】 My Brother in Hawaii 三人称単数現在形	6	
	【Unit6】 A <i>Rakugo</i> Performer from the U.K. 代名詞や疑問詞	6	
	【Unit7】 An Online Tour of the U.K. 現在進行形、感嘆文	6	
	【Unit8】 Think Globally, Act Locally 不定詞、look + 形容詞	6	
3 学 期	【Unit9】 Winter Vacation 一般動詞の過去形	6	
	【Unit10】 This Year’ s Memories be動詞の過去形、There is [are] ….	6	